

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

167号

★ 2015年3月29日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 図書館は平和公園へ？

— 図書館側の方針 —

今年2月の文教児童委員会で『今後の中央図書館の施設等検討会』報告書(案)が出されたのを受けて、3月16日報告書(案)の説明が、図書館長から有りました。

① 中央図書館の移転改築に関して

移転先は平和公園

規模は5000㎡以上、3階～4階建

② 現図書館の改築案は無く、取り壊される。

上記が報告書の検討内容です。

“景観を守る会”で提案した三井住友銀行と隣接する駐輪場を含めた計画は、経費がかかり過ぎるとの事で却下です。

3回のワークショップと、館長を交えての話し合いでの住民利用者の提言が受け入れられた内容にはなっていません。

常盤台の街と図書館は、共に必要な文化的取り合わせなので、残念な限りです。

又、平和公園は、近隣住民の憩いの場であり、緊急時の避難場所でもあり、自然も息づいています。その環境を、区の所有地で経済的との視点から壊してしまうのは考え物です。その上、近隣住民との事前協議会も開かれていません。相変わらずの事後承諾です。

まだ確定ではないと言っていますので、これから常盤台に図書館を残す方向での検討を促して行きましょう。

○ 宮澤（近藤）邸保存へ

かねてから保存が危ぶまれていた2丁目の宮澤（近藤）邸は、景観を守る会の要請によってIさんが購入し、とりあえず保存されることが決まりました。

この家は常盤台住民にとって分譲当時の面影を残す貴重な文化遺産です。可愛らしい洋風の外観は、散歩する人にとって親しみやすく懐かしい建物です。

所有者が亡くなり、維持が危ぶまれていました。通常では不動産業者の手で更地にされ、普通の土地売買にされるどころです。建物の価値など一顧だになされません。

常盤台住宅地がいくら優れていると言われても、よい建物がなければ景観も何もありません。

鈴木博之さんも新しい町にも古い建物が必要と言っていました。常盤台には昭和初期の家が、まだ何軒も残っています。今では材料からして手に入らないものがあると思います。そういう古いものを大事にしていけない街は歴史認識も文化度も低い街と言わねばなりません。

○ バザーのお知らせ

4月26日(日) 10時～15時

品物受付 4月25日(土) 午後1時～4時

場所はいずれも去年と同じく

常盤台小学校前の工藤家のガレージの予定

衣類は新品または新品に近い洗濯済みのもの。粗大ゴミになるようなものは残った場合お引取りいただくこともあります。

統一地方選挙の日です。投票のついでにお立ち寄りください。(花作りの会のマーマレードも販売します。)

南宇都宮駅舎を見に行くバスツアー

— 大谷石資料館・大家石建築を見学
宇都宮ギョウザを食べて帰ります —

日には未定ですが、日帰りのバスツアーを計画しています。マイクロバスか中型のバスで、常盤台駅舎の兄弟である南宇都宮駅舎を見に行きましょう。希望者は早目にご連絡ください。

「魚〇」の看板

一六五号で居酒屋「魚〇」の看板が控え目だったことに、区の景観規制が効いたのだろうかという記事に、しやれ街協議会の方からあれは協議会が随分業者と協議を重ねた結果なのだ、とご意見をいただきました。駅前前の景観がもつとセンスのよいものになるように、これから建つものだけでなく、既成の看板などにもしやれ街協議会が活発に動けるとよいのですが・・・

戦争のかげ

“戦争が廊下の奥で立つてゐた” 渡辺白泉
こんな句が思い起こされそうな世の中です。

軍部が暴走したあの忌まわしい戦争が、二発の原爆でやっと終わったのですが、過ちは軍部だけではありません。自由な意見が言えない状況にしてしまった普通の人たちが、時の権力者に逆らう勇氣が持てなかつた大人しい日本人にもまた責任があつたでしょう。今私たちが歩いていく廊下の先に不気味に立っているものは？ 中国や北朝鮮と同じような一党独裁的状况を早く脱しないと、とんでもないことになるのでは？

無農薬無添加の

常盤台産マーマレードはいかが！

今年は豊作とかで、Aさんから夏みかんが100個以上も届きました。完全無農薬なので、マーマレードにはうってつけの材料です。市販のミカン類が不適当なのは、農薬以外に防カビ剤やワックスが付いているからです。また出来合いのマーマレードには保存料や添加物がたくさん入っているのです。

マーマレード作りは一仕事です。皮と実に分け、皮は薄くスライスして水に漬けます。苦味を取るためゆでこぼす人が多いと思いますが、苦味も風味のうちなので、そのまま煮ます。果肉の方は袋を取り除き、後で加えます。そのまま食べても無農薬のものは美味しいものです。

煮あがったら砂糖を何回かに分けて入れます。保存料も添加物も使わず、グラニュー糖だけで煮るので、かなりの量の砂糖を使います。インターネットでビンを取り寄せてもいますが、再利用するビンと蓋は、食洗機にかけてから熱湯消毒しつつ、熱いままのマーマレードを入れ、すぐに蓋をします。

こうしてできたマーマレードは、Aさんの庭から皆さんの口に入り、収益は公園の球根代となつてまた皆さんの目を楽しませる、という素敵な循環を作るのです。

どうぞ常盤台産のマーマレードを召し上げてみてください。本物はやみつきになる美味しさですよ！

先ずは四月二十六日の景観を守る会のバザーに出しますので、よろしく願います。

常盤台公園のはなづくり

東京の桜の開花は二十三日に宣言されました。公園の桜もこの土・日の暖かさで一気に花時を迎えました。

二丁目の北口公園では立派な二本のエンジンジュの樹が切り倒され、桜が一本植えられました。二丁目に桜が全く無くなり、近所の人たちがお花見をしたいと桜の植樹を希望したのだそうです。

エンジンジュはまだ二本残っています。あまり簡単に大木を切らないで欲しいと思います。板橋区の色々な所で、区は樹木を大切にしていけないとの声を聞くのです・・・

新しい桜はオカメ桜だそうです。某家の庭にあつたオカメ桜を懐かしむ人も多いでしょう。根元をしっかりと柵で囲っているのに、桜にとって大事な根を傷めることもなく、ソメイヨシノなどに先駆けて濃い目の花を楽しませてくれるに違いないと思います。

常盤台公園の方では、Sさんが小鳥のための小さな巣箱をスタジイのひとつに取り付けておいたのですが、区は剪定作業の際、取り外したいとのこと。

カラスに狙われない安全な巣箱が必要ではないかと思いますが、今まで利用した小鳥はいないようで、また付ける時は工夫が要るようです。